

正しい「憲法改正」のための運動論の提起

2007年5月3日

法政大学法学部教授

「市民版憲法調査会」世話人

五十嵐 敬 喜

一 近代の政治空間

- 1 権力の抑制と国民の政治参加
- 2 憲法改正手続きと国民投票法

二 現代日本の政治空間

- 1 多様性の中での画一化の進行
- 2 保守の大衆化と革新の老朽化
- 3 右と官僚の一体化と左と市民の連合という構図
金持ちと貧乏人
石原は、全地域、全年代、男女すべてで勝つ。
- 4 小泉郵政民営化選挙と石原都知事選挙による徹底的破壊

三 柔らかなファシズムと市民の消失

- 1 討議と運動の欠如
- 2 お任せ民主主義の進化
- 3 上からのリーダーシップの待望
- 4 消えた変革への展望

四 「憲法改正」に託するもの

- 1 もっとも大きな構造としての「アジア憲法構想」
「EU憲法案」に学ぶ
- 2 アジア市民論の構築
国際的な人権の確立
アジアの未来への日本アイデンティティの構築
豊かな社会イメージの構築

★プロフィール★ 五十嵐敬喜(いがらし・たかよし)

法政大学法学部教授・弁護士。1944年山形県生まれ。1966年早稲田大学法学部卒業。1968年弁護士登録。早稲田大学社会科学部非常勤講師などを経た後、1995年より法政大学法学部教授。専攻は都市政策、立法学、公共事業論。

都市計画のあるべき姿を追求し、全国の自治体のまちづくりや不当な建築に対する住民運動への協力と啓発活動を続けてきた。公共事業の見直しのオピニオンリーダーとしても活動している。近年は「市民の憲法論」の構築と「美しい都市」をつくるための方法論の探求に取り組んでいる。

主な著書に、『都市法』(ぎょうせい・1987年)、『議員立法』(三省堂・1994年)、『美しい都市をつくる権利』(学芸出版社・2002年)、『市民の憲法』(早川書房・2002年)、『五十嵐敬喜憲法改正論』(日本経済評論社・2005年)、『美しい都市と祈り』(学芸出版社・2006年)など、共著書に、『公共事業をどうするか』(岩波新書・1997年)、『公共事業は止まるか』(岩波新書・2001年)、『都市は戦争できない』(公人の友社・2003年)、『市民事業』(中公新書ラクレ・2003年)、『「都市再生」を問う』(岩波新書・2003年)、『建築紛争』(岩波新書・2006年)などがある。